

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期） 策定のための調査

調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和2年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、市内で活動する介護支援専門員（ケアマネジャー）の皆さま全員にお願いさせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 10 月 府中市

《記入にあたってのお願い》

1. 調査基準日は、令和元年 10 月 1 日とします。（期日の指定のあるものを除く）
2. 回答にあたっては、該当するものの番号を で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、
10 月 28 日（月）までに 郵便ポストに投函してください。
4. 調査票、返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係

☎ 042 - 335 - 4537（直通）

【最初に、あなたのことについておたずねします】

問 1 あなたの性別をお答えください。(1つに)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 3. 40代 | 5. 60代 |
| 2. 30代 | 4. 50代 | 6. 70歳以上 |

問 3 あなたは、介護支援専門員(以下「ケアマネジャー」)以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------|---------------|--------------------|
| 1. 医師 | 7. 作業療法士 | 13. 精神保健福祉士 |
| 2. 歯科医師 | 8. 言語聴覚士 | 14. 社会福祉主事 |
| 3. 薬剤師 | 9. 歯科衛生士 | 15. ホームヘルパー(訪問介護員) |
| 4. 保健師 | 10. 栄養士、管理栄養士 | 16. その他 |
| 5. 看護師、准看護師 | 11. 社会福祉士 | (具体的に:) |
| 6. 理学療法士 | 12. 介護福祉士 | |

問 4 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間で教えてください。(1つに)(令和元年10月1日時点)

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年以上5年未満 | 5. 7年以上 |
| 2. 1年以上3年未満 | 4. 5年以上7年未満 | |

問 5 あなたは、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)の資格を有していますか。(1つに)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 6 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。(1つに)

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年以上5年未満 | 5. 7年以上 |
| 2. 1年以上3年未満 | 4. 5年以上7年未満 | |

【ケアマネジャー業務の担当状況についておたずねします】

問 7 あなたの勤務形態をお答えください。（1つに ）

1. 常勤・専従（ 問 8 へ進む）	3. 非常勤・専従（ 問 8 へ進む）
2. 常勤・兼務	4. 非常勤・兼務

（問 7 で「2」又は「4」と答えた方におたずねします）

問 7-1 どのような業務を兼務していますか。（いくつでも ）

1. 管理・事務	4. 相談業務
2. 医療系サービス	5. その他
3. 介護サービス	(具体的に:)

【ケアプランの作成状況についておたずねします】

問 8 令和元年9月末現在、あなたが担当している利用者数（一時的入院中などを含め、継続的に関わっている総利用者数）をご記入ください。担当している利用者や件数がない場合には「0」と記入してください。

要介護1～5	要支援1・2	介護予防・日常生活総合事業対象者
人	人	人

（居宅介護支援事業所の管理者（又は管理者に類する方）におたずねします）

問 8-1 介護予防プランの作成を受託していない場合、その理由を具体的にお書きください。

問 8-2 介護予防プランの受託件数を増やす上で課題となることは何ですか。具体的にお書きください。

【担当地域におけるサービスの状況についておたずねします】

問 9 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービス、今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。

（それぞれ3つまで選んで番号を記入）

（1）量的に不足しているサービス

--	--	--

（2）ケアプランに組み入れにくいサービス

--	--	--

（3）今後必要性がより高まると思われるサービス

--	--	--

1. 訪問介護	13. 住宅改修費の支給
2. 訪問看護	14. 介護老人福祉施設
3. 訪問リハビリテーション	15. 介護老人保健施設
4. 訪問入浴介護	16. 夜間対応型訪問介護
5. 居宅療養管理指導	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
6. 通所介護	18. 小規模多機能型居宅介護
7. 通所リハビリテーション	19. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 短期入所生活介護	20. 地域密着型通所介護
9. 短期入所療養介護	21. 認知症対応型通所介護
10. 特定施設入居者生活介護	22. 認知症対応型共同生活介護
11. 福祉用具の貸与	23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
12. 特定福祉用具購入	24. 特にない

問 10 あなたは、介護保険サービス以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがありますか。（いくつでも）

- | |
|---------------------------|
| 1. 市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある |
| 2. インフォーマルサポートを加えたことがある |
| 3. どちらもない（問 11 へ進む） |

（問 10 で「1」とお答えの方におたずねします）

問 10-1 ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービスはどれですか。（いくつでも）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 高齢者医療ショートステイ | 6. 寝具乾燥サービス |
| 2. 日常生活用具給付とレンタル | 7. 理容師・美容師の派遣 |
| 3. はいかい高齢者探索サービス | 8. その他 |
| 4. 日常生活用品（おむつ）の助成 | （具体的に） |
| 5. 車いす福祉タクシー | 9. 特にない |

（問 10 で「2」とお答えの方におたずねします）

問 10-2 ケアプランに加えたインフォーマルサポートはどのような内容のものですか。
(いくつでも)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等
2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い
3. 病院、買物等への付添い
5. 移動販売・食材配達
6. ふれあいいいききサロン¹
7. コミュニティカフェ²
8. 話し相手、見守り
9. 夜間や日中、利用者の要望に応じた随時対応の支援
10. 草むしり、犬の散歩などの介護保険で利用できない支援
11. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援
12. 配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援
13. 移送、墓参り等の付添いなど
14. 旅行の付添い
15. 資産管理などの権利擁護、成年後見制度
16. 趣味・娯楽・文化活動支援
17. その他(具体的に:)

1: 地域にある多世代交流の場です。地域住民ができる範囲で主体的に関わり、そこでの交流が地域での支え合いにつながることを目指しています。

2: 地域における居場所、たまり場の総称で地域の人々によるネットワークの形成を目的としています。

問 11 今後一層の充実が必要と感じる高齢者保健福祉サービスは次のどれですか。

(いくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 高齢者医療ショートステイ | 6. 寝具乾燥サービス |
| 2. 日常生活用具給付とレンタル | 7. 理容師・美容師の派遣 |
| 3. はいかい高齢者探索サービス | 8. その他 |
| 4. 日常生活用品(おむつ)の助成 | (具体的に) |
| 5. 車いす福祉タクシー | 9. 特にない |

（問 11 で「1」～「8」とお答えの方におたずねします）

問 11-1 その理由を具体的にお書きください。

【サービス提供事業所等との関わりについておたずねします】

問 12 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

(いくつでも)

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集 2. サービス提供事業所のホームページを閲覧 3. 地域単位の事業者情報誌等を閲覧 4. 都の介護サービス情報のホームページを閲覧 5. 「WAMネット」の事業者情報を閲覧 6. 同一地区のサービス提供事業所との定期的な連絡会などに参加 7. ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整 8. サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業者との連絡を取る機会はない 9. その他(具体的に:)
--

問 13 ケアプラン作成にあたり、医療機関等からの情報収集を行っていますか。(いくつでも)

1. 主治医の意見書を入手 2. 意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集 3. 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集 4. 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集 5. その他(具体的に:) 6. 特に行っていない
--

【サービス担当者会議についておたずねします】

問 14 サービス担当者会議への参加状況(電話、FAX、メールを含む)についてお答えく

ださい。(それぞれ1つに)(平成30年10月1日～令和元年9月30日)

	参加している	必要に応じて参加している	あまり参加していない	参加していない	呼んだことがない
ア.利用者	1	2	3	4	5
イ.家族	1	2	3	4	5
ウ.主治医	1	2	3	4	5
エ.歯科医師	1	2	3	4	5
オ.薬剤師	1	2	3	4	5
カ.サービス事業者	1	2	3	4	5
キ.主治医以外の医療機関関係者(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等)	1	2	3	4	5
ク.地域包括支援センター職員	1	2	3	4	5

問 15 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感じることは何ですか。（いくつでも）

1. 自分の日程調整	6. 会場の確保
2. サービス事業者との日程調整	7. 資料づくり
3. 利用者の出席	8. 会議の進め方
4. 家族の出席	9. その他
5. 主治医の出席	(具体的に:)

【地域包括支援センターの役割についておたずねします】

問 16 市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。次の各項目についてお答えください。（ア～コそれぞれ1つに）

	十分果たしている と思う	まあまあ果たしている と思う	どちらともいえない	あまり果たしていない とは思えない	果たしていない とは思わない
ア．地域の総合相談窓口としての役割	1	2	3	4	5
イ．実態把握などによる要援護高齢者の早期発見と対応の役割	1	2	3	4	5
ウ．支援困難事例への個別指導・相談の役割	1	2	3	4	5
エ．かかりつけ医（主治医）との連携の役割	1	2	3	4	5
オ．高齢者虐待防止・権利擁護の役割	1	2	3	4	5
カ．介護予防プランを作成する役割	1	2	3	4	5
キ．介護予防講座や教室を開催する役割	1	2	3	4	5
ク．ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割	1	2	3	4	5
ケ．地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割	1	2	3	4	5
コ．多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割	1	2	3	4	5

【サービス利用者の在宅医療の状況についておたずねします】

問 17 あなたが担当している利用者の中に、訪問診療、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（それぞれ1つに ）

ア. 訪問診療	1. いる ()人 うち実際に受けている()人 2. 必要と思われる方はいない
イ. 訪問看護	1. いる ()人 うち実際に受けている()人 2. 必要と思われる方はいない
ウ. 訪問歯科診療	1. いる ()人 うち実際に受けている()人 2. 必要と思われる方はいない
エ. 訪問服薬管理指導	1. いる ()人 うち実際に受けている()人 2. 必要と思われる方はいない

問 18 あなたは、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。（1つに ）

1. 行われていると思う	3. あまり行われていないと思う
2. ある程度行われていると思う	4. 全く行われていないと思う

問 19 あなたは、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていく上で不足している機能は何だと考えますか。（あてはまるものすべてに ）

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
5. 在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設
6. その他（具体的に： _____）

問 20 医療的ケア（胃ろう、吸引、インスリン、人工肛門など）が必要な利用者のショートステイ（レスパイト）に関して、どのように対応されていますか。（いくつでも ）

1. 介護保険施設にてショートステイを利用。
2. 有料老人ホームのショートステイを利用。
3. 入院を調整
4. 市の高齢者医療ショートステイを利用
5. ショートステイ（レスパイト）を利用していない
6. その他（具体的に： _____）

問 21 今後、医療的ケアが必要な在宅療養者が増加することが考えられます。このとき、在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービスを具体的にお書きください。

問 22 後方支援病床利用調整事業 について利用したことがありますか。

- | |
|---------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 利用したことが無い |
| 3. 本事業を知らなかった |

在宅療養をされている市民で、65歳以上または介護保険第2号被保険者の方を対象に、主治医が病状の変化により一時的に医療機関に入院して治療を受ける必要があると判断したものの主治医での入院調整が難しい場合に、市が短期間の入院・治療について受入可能な医療機関を調整し、在宅療養を支援する事業です。

（問 22 で「2」、「3」とお答えの方におたずねします）

問 22-1 その理由を具体的にお書きください。

【認知症患者のサービス利用についておたずねします】

問 23 あなたが担当している認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。（いくつでも、最も大変なことに ）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 本人や家族が医療機関を受診しない |
| 2. 本人の意思の確認が取れない |
| 3. 家族が認知症であることを認めない |
| 4. 薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない |
| 5. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる |
| 6. 認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される |
| 7. 消費者被害に遭遇している |
| 8. 虐待を受けている |
| 9. 本人や家族間で介護の方針が食い違う |
| 10. 身体疾患があり医療的な管理が難しい |
| 11. その他（具体的に： _____） |

問 24 あなたは認知症患者の支援にあたって、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とれている | 3. あまりとれていない |
| 2. まあまあとれている | 4. とれていない |

問 25 これから認知症患者の支援にあたり必要になると思うことは、次のどれですか。

(3つまでに)

- | |
|--|
| 1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること |
| 2. 認知症の人を支援する社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと |
| 3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと |
| 4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること |
| 5. かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること |
| 6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと |
| 7. 地域ケア会議などの専門的な支援体制が充実すること |
| 8. 認知症初期集中支援チームなどにより早期からアセスメントや支援が行われること |
| 9. 認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと |
| 10. その他(具体的に:) |

【医療と介護の連携の状況についておたずねします】

問 26 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。

(3つまで)

- | | | |
|--------|--------------|----------|
| 1. 電話 | 4. 診察への同行 | 7. 直接訪問 |
| 2. FAX | 5. 訪問診療への同席 | 8. その他 |
| 3. メール | 6. サービス担当者会議 | (具体的に:) |

問 27 あなたは、利用者が入院する際に、どれくらいの頻度で情報提供書を作成し、入院先へ提供していますか。(1つに)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 概ね提出している(80%台~100%) | 4. あまり提出していない(20~30%台) |
| 2. ある程度提出している(60~70%台) | 5. ほとんど提出していない(0~10%台) |
| 3. 半分くらい提出している(40~50%台) | |

問 28 あなたは、退院前(時)カンファレンスにどれくらいの頻度で出席していますか。

(1つに)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 概ね出席している(80%台~100%) | 4. あまり出席していない(20~30%台) |
| 2. ある程度出席している(60~70%台) | 5. ほとんど出席していない(0~10%台) |
| 3. 半分くらい出席している(40~50%台) | |

問 29 あなたは、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。

（1つに ）

1.ある	2.ない（問 31 へ進む）
------	----------------

（問 29 で「1」とお答えの方におたずねします）

問 29-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

問 30 あなたは、医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

病院（地域連携室）	
診療所	
歯科診療所	
薬局	
訪問看護ステーション	

問 31 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問 32 在宅療養を支える上で、さらに連携が必要と考える医療職はなんですか。

(いくつでも)

1. 医師	4. 看護師	7. リハビリテーション職
2. 歯科医師	5. 訪問看護師	8. その他
3. 薬剤師	6. MSW(医療ソーシャルワーカー)	(具体的に:)

【ケアマネジャー業務全般についておたずねします】

問 33 ケアマネジャー業務を行う上で、課題としてお考えのことはどのようなことですか。

(いくつでも)

1. 市内にインフォーマルサポートの種類が少ない
2. サービス提供事業者に関する情報が少ない
3. 利用者及び家族にサービスの必要性を理解してもらうための対応方法がわからない
4. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない
5. 多問題事例のケアマネジメントの方法がわからない
6. 認知症ケアの方法がわからない
7. 医療機関との連携がうまくとれない
8. 相談する人が身近にいない
9. 所属している事業所の関連事業者からのサービスに偏る
10. 資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない
11. その他(具体的に:)

問 34 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(いくつでも)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意
2. 課題分析のための居宅訪問・面接
3. サービス担当者会議の開催・調整
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意
5. ケアプランの交付(書類の作成など)
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接
7. 主治医や医療機関との連絡調整
8. 利用者や事業者の苦情対応
9. 要介護認定などの申請代行
10. 介護報酬請求事務
11. 夜間や休日の相談対応
12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
13. その他(具体的に:)
14. 特に負担に感じることはない

問 35 ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談しますか。（いくつでも）

1. 同一事業所のケアマネジャー	7. 東京都国民健康保険団体連合会
2. 他事業所のケアマネジャー	8. サービス提供事業者
3. 居宅介護支援事業者連絡会	9. 医師
4. 地域包括支援センター	10. その他（具体的に：_____）
5. 市役所	11. 相談できる相手がいない
6. 東京都	12. 困ったりすることはない

問 36 どのようなことを相談していますか。（いくつでも）

1. 困難事例への対応に関すること
2. 利用者・家族間の意見調整に関すること
3. 運営基準等の解釈に関すること（居宅サービスの適否判断を含む）
4. 上記3以外のケアマネジャー業務に関すること
5. インフォーマルサポートの利用に関すること
6. 医療知識に関すること
7. 介護報酬請求事務に関すること
8. その他（具体的に：_____）
9. 特に相談することはない

問 37 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために（1）現在行っている（2）今後行いたい取組をそれぞれ3つまで選び、ご記入ください。

（1）現在行っている

--	--	--

（2）今後行いたい

--	--	--

1. 自主的な勉強会の実施・参加
2. 居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける
4. 事業所内の研修への積極的な参加
5. 外部研修への積極的な参加
6. 参考書などからの知識や情報の収集
7. その他（具体的に：_____）
8. 特に行っていない

問 38 利用者への情報提供の際に、課題と感じていることはありますか。(いくつでも)

1. 重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解がどの程度得られているか判断が難しいこと(特に認知症高齢者の場合)
2. 介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと
3. 居宅介護支援事業所内に利用者対応マニュアルが整備されていないこと
4. 制度改正が頻繁かつ複雑多岐にわたり、利用者の理解を得るのが困難なこと
5. 利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと
6. その他(具体的に:)
7. 特にない

【府中市への意向についておたずねします】

問 39 今後、保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは何ですか。

(3 つまでに)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援
3. 不正な事業者への指導
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発
5. 地域包括支援センター機能の充実
6. 市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催
7. 制度運営における保険者判断部分の周知
8. その他(具体的に:)
9. 特にない

問 40 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうか一度お確かめの上、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**10月28日(月)までに**お近くのポストに投函してください。